

日本大学大学院 学生会員 ○ 岩崎 弘和
日本大学理工学部 正 会 員 伊澤 岬
日本大学理工学部 フェロー 三浦 裕二

1 はじめに

古くから、淀川水系を通じ大阪との結びつきが強かった京都は、多くの歴史遺産を有するわが国の代表的な観光都市である。しかし、京都の街は車であふれ交通渋滞が慢性化しているほか、自動車の排気ガスが重要文化財保護に悪影響を及ぼし、車社会に対する価値観の転換が求められている。そこで平成9年4月の「総合物流施策大綱」の閣議決定を機に河川舟運を再興する動きがあり、本稿では古来より「水運」との結びつきが強かった京都－大阪間の淀川水系を軸とし、大阪－大津間において河川舟運を復興させ、今までの交通体系に新たに「水の道」を加えた多面的な交通手段の確保を提案する。また、歴史的・交通的・観光的視点から運河の魅力伝えるべく、淀川水系と直結した場所にアメニティ性の高い運河拠点をいくつか提案する。

2 京都・大阪の交通体系の変遷

近世までわが国の政治、経済、文化の中心はこの淀川水系であった。これは都が平城京から難波京、そして長岡京を経て平安京へと移った歴史からも分かる。国土を経営するために米や材木、石などの物資の輸送は必要不可欠であり、それを担っていたのが河川舟運であった。ところが現在では、その大半を自動車が進めるとともに、その割合は年々増加する傾向にある。しかし車優先の交通体系は同時に、大気汚染、騒音、道路振動といった「環境問題」や「自然エネルギーの枯渇」、「交通渋滞」といった社会問題を引き起こしている。そこで、21世紀に向けて環境への負担の軽減、エネルギー消費の軽減、交通渋滞の緩和、災害時の輸送手段の確保といったことを考慮したマルチモーダルな交通システムによる新たな社会資本の構築を提案する。

3 淀川水系河川舟運計画

「水の道」を主要交通手段の一つとして、大阪－大津間¹⁾(大阪湾－淀川－宇治川－瀬田川－琵琶湖－大津)約67kmの舟運ネットワーク網を提案する。しかし既存の河川状況のままでは、大阪湾－大津までの水位差83mを航行させることは困難である。そこで淀川水系を効率的に利用させるにはまず、クリアランスの低い橋を架け替え、水位差をクリアするための運河施設としてロックやインクラインを整備するなど工学的対応を提案する。

4 河川舟運転換への可能性

河川舟運に転換可能な貨物量の検討を行った調査報告書²⁾を参考に、河口より30km地点の伏見区に広域ロジスティクスセンターとしての河川港を計画し、河川舟運転換への可能性を検討した。この結果、計画河川港の背後圏20km地区の港湾貨物量と計画河川ルート³⁾の現況から、300t級の物流船を想定し、現在のトレーラートラック輸送量の10%、10tトラック輸送量の15%を河川舟運に転換させた場合、大阪－京都(伏見)間を1日2往復させることで可能となり、これにより全体の約1/4に相当するトラックからのNOx排出量を1日に削減できる。

5 運河拠点計画

(1) 淀川河口：シンボルブリッジ

「大阪の水の玄関口」と位置づけ、クリアランスの低い伝法大橋、阪神西大阪線鉄道橋、淀川大橋の3つの橋を300t級の物流船が航行できるように4m以上とし、水都大阪の都市ゲートとしてのシンボルブリッジとする。さらに、淀川との交点付近に位置する阪神西大阪線の伝法駅前に淀川から水路を開削し、鉄道駅と直結した船着き場を設け「鉄の道」と「水の道」との異種のインフラ間の連続性を計った新伝法駅ターミナルを提案する。

(2) 伏見：新研究学園都市

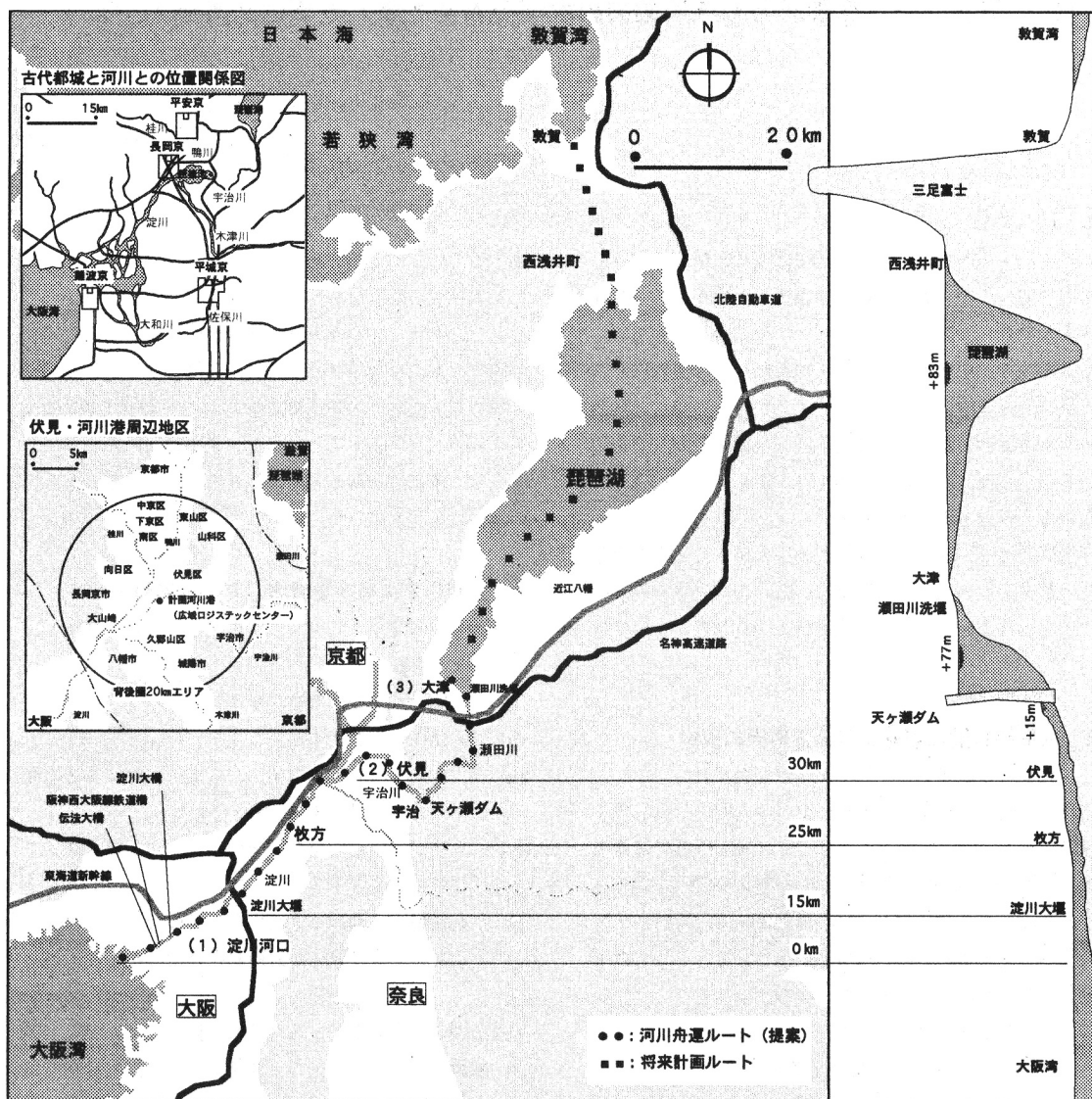
国道1号線と宇治川との交点に物流拠点として、300t級の物流船が停泊可能で、背後圏の物資量の2週間分をストックできる倉庫を有する規模の河川港を計画する。またそこには、竹田駅から近鉄京都線を延長させた鉄道駅を新設し、船、自動車、鉄道の異種のインフラ間のスムーズな連続性が計られた広域ロジスティクスセンターを提案する。さらに「学問の都・京都」の名を取り戻すべく、河川港と隣接して水の道で結ばれた大学・研究施設やハイテク産業が集積した新研究学園都市を提案する。

(3) 天ヶ瀬：運河アメニティセンター

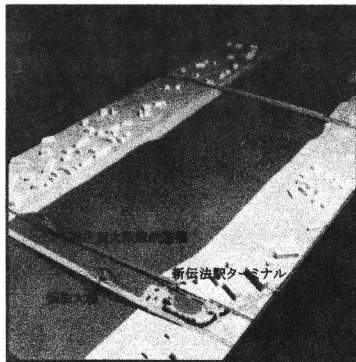
天ヶ瀬ダムでは、62mの水位差を克服しなければならない。この水位差を小規模かつ省エネルギーで克服できる運河施設として勾配55%の水平インクラインを提案する。またこの施設を中心に、立体的視点場となる展望デッキや展望塔、運河啓蒙施設としての運河博物館を併設した運河アメニティセンターを提案する。

キーワード：舟運、淀川、ロック、水平インクライン、運河拠点

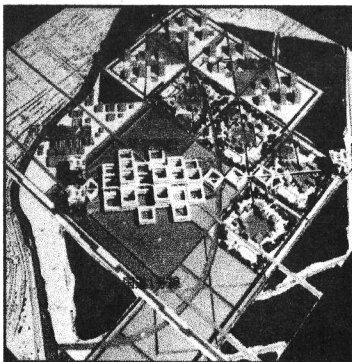
連絡先：日本大学理工学部 千葉県船橋市習志野台7-24-1 TEL:047-469-5503 FAX:047-469-2581



(1) 淀川河口：シンボルブリッジ



(2) 伏見：新研究学園都市



(3) 天ヶ瀬：運河アムニティセンター

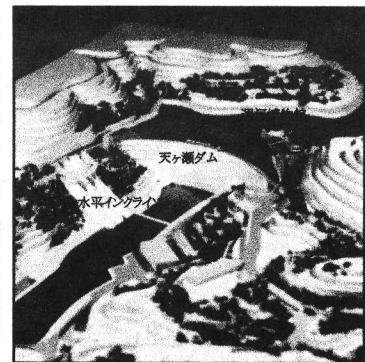


図-1 淀川・水の回廊構想計画

1) 財団法人 リバーフロント整備センター 長野正孝：わが国における近代運河の提案 1993年11月

2) 財団法人 港湾空間高度化センター：わが国における近代運河の現実可能性に関する基礎的調査報告書 1995年3月